

平成24年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	一般廃棄物収集運搬業務委託			基本目標	廃棄物処理体制の整備			
担当課(局)・係	町民生活課	環境保全係	記入者	金丸寿生	評価者	三浦 敏	開始年度	H3 年度

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	ごみ収集運搬委託業務										
	意図・目的	ごみ収集運搬等を業者へ委託することで、経費の削減につながることを目的とする。										
事業の内容	ごみの収集運搬を民間業者へ委託。 ごみの効率的な収集運搬を行う。											
23年度決算額		43,175	千円	24年度予算額		43,175	千円	事業従事者数	H23 0.16 人	H24 0.16 人		
主な支出項目	可燃ごみ収集運搬委託	21,618	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	23年度人件費	1,142 千円			
	不燃ごみ収集運搬委託	21,557	千円		県支出金		千円	24年度人件費	1,143 千円			
			千円		地方債		千円	24年度予算額における一般財源の割合(H24)		100.0	%	
			千円		一般財源	43,175	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください				
		千円				千円						
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		-							
	補助交付団体		補助金要綱		-							
	23年度	補助額	-	千円	補助の形態	-	H24年度補助額	-	千円	終期	-	年度
		団体の決算額	-	千円	H23年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等							
		補助の割合	-	%								
繰越額		-	千円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 可燃ごみ及び古紙類収集運搬委託	家庭ごみの収集運搬を委託業務とすることで、人件費、車両機材に係る経費の抑制となっている。	
	2 不燃ごみ及び資源ごみ収集運搬委託	家庭ごみの収集運搬を委託業務とすることで、人件費、車両機材に係る経費の抑制となっている。	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 収集ごみ量(可燃・古紙類)	町内のゴミ集積所(可燃ごみ約830箇所)に出るごみを計画的に収集し処理施設へ運搬搬入。	
	2 収集ごみ量(不燃ごみ・資源ごみ)	町内のゴミ集積所(不燃ごみ約590箇所)に出るごみを計画的に収集し処理施設へ運搬搬入。	
	3		

◎達成状況

指標名		単位	22年度	23年度	24年度	
成果指標	可燃ごみ及び古紙類収集運搬委託	目標値	21,618,000	21,618,000	21,618,000	
		実績値	21,618,000	21,618,000		
		達成率	100.0%	100.0%		
	不燃ごみ及び資源ごみ収集運搬委託	目標値	21,557,000	21,557,000	21,557,000	
		実績値	21,557,000	21,557,000		
		達成率	100.0%	100.0%		
活動指標	収集ごみ量(可燃・古紙類)	目標値	4,300	4,200	4,150	
		実績値	4,223	4,151		
		達成率	98.2%	98.8%		
	収集ごみ量(不燃ごみ・資源ごみ)	目標値	515.00	536	540	
		実績値	542.00	547		
		達成率	105.2%	102.1%		

事務事業名	一般廃棄物収集運搬業務委託	担当課(局)	町民生活課
-------	---------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	担当者記入欄	評価する項目	点数
			自己評価
（必要性）	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、一般廃棄物の処理事業が市町村に義務付けられている。	◎目的からして町が行うべきか	2
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2
		◎事業廃止による影響があるのか	2
有効性	ごみの収集運搬を委託業務とすることで、人件費、車両機材に係る経費の抑制となっている。	◎目標に対して成果は得られているか	2
		◎すでに目的は達成されていないか	2
効率性	人件費、車両機材に係る経費の抑制となっている。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2
		◎費用対効果が十分に認められるか	2
協働性	ごみの分別徹底については、町民の協力が必要である。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0
合計(最高18点)			16

※町補助をしている場合のみ記入

（公平性）	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	-
	◎町民の理解が得られる事業であるか	-
合計(最高4点)		-
その他		

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	家庭系ごみの収集運搬業務については、平成24年度より2業者から1業者となり、一元化されたため、指示・指導等については簡素化、利便性が向上したと考えられる。しばらくは収集状況等を見守ることとしているが、今後も、業者自身の健全経営はもちろんだが、住民サービスの向上、収集体制の効率化を図りながら経費削減の努力もお願いしたいと考えている。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	維持	縮小
			○			
			廃止	縮小	維持	拡充
			コスト			

◎事務事業評価委員の意見等

<ul style="list-style-type: none"> 適正な単価での処理を行ってほしい。 現実的に直営では不可能であるので、外部委託で継続するべきである。 	◎今後の方向性
	事務事業評価委員会
	判定: 維持
	外部評価委員会
	判定: 答申書参照